

区 分 ・ 種 別	重要文化的景観
名 称	ゆすみずがうらのだんばた 遊子水荷浦の段畑
所 在 地	宇和島市遊子
所 有 者	宇和島市ほか
選定年月日	平成19年7月26日
解 説	愛媛県の西南部に当たる宇和島市^{ゆ す みずがうら}遊子の水荷浦は、豊後水道に向かって延びる三浦半島の北岸から、さらに宇和海及び宇和島湾に向かって分岐する岬のうち一つの小さな岬の小集落である。岬の東南側の急傾斜面には、等高線に沿って小さな石を積み上げて形成された壮大な雛段状の畑地が展開し、水荷浦をはじめ宇和島市周辺では「^{だんばた}段畑」と呼ばれている。 近世・近代を通じて雑穀・サツマイモ・桑などの栽培により形成された「段畑」は、宇和海沿岸の風土とも調和して、沿岸におけるイワシ漁や湾内のハマチ養殖業とも深く関連しつつ、農耕を継続的に営むことにより緩やかな発展を遂げた特色のある文化的景観である。

